

精神病院法案外二件特別委員會議事速記録第一號

付託議案

「トラホーム」豫防法案

結核豫防法案

委員氏名

委員長 侯爵花山院 親家君
副委員長 北里 柴三郎君
子爵米倉 雄長君
子爵米倉 昌達君
男爵高木 兼寛君
男爵岩佐 千之君
男爵岩佐 新君
永田 秀次郎君
大森 慶次郎君

大正八年三月八日(土曜日)午前十時十七分開會

○委員長 侯爵花山院親家君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス、御異存ガザイマセヌケレバ政府當局ヨリ御説明ヲ請ヒタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○委員長 侯爵花山院親家君) 御異議ガナイヤウデゴザイマスカラ一應御説明ヲ煩ハシマス

○政府委員(杉山四郎君) 本法提出ノ理由ハ昨日本會議ニ於キマシテ當初大臣ヨリ一應御説明ヲ申上デテアリマスガ、尙ホ此委員會ニ於キマシテ私ヨリ一應提案ノ理由ヲ申シタイト存ジマス、我國ニ於キマスル精神病者ノ數ハ統計ノ所ニ依リマスレバ明治四十四年ガ二萬五千七百九十三人デゴザイマシタガ、其後年々増加イタシマシテ大正五年末ニ於キマシテハ四萬四千二百二十五人ニ達シマシテ、殆ド倍ト云フヤウナ増加ヲ示シテ居リマス、一昨年保健衛生調査會ニ於キマシテ全國ニ對シ一定ノ標準ヲ示シマシテ、警察調査ヲ行ヒマシタル結果ニ依リマスト云フト其數實ニ六萬四千九百三十四人ノ多數ニ及ンデ居リマス、之ヲ歐米ノ精密ナル調査ノ基礎ニ依テ精神病者ノ數ハ、御承知ノ通り三百人乃至五百人ニ一人ト云フ計數ヲ歐米デハ立テテ居リマスルガ其比例デ參リマスト云フト我國ノ人口ニ對シマシテ十二萬乃至二十萬人ノ實數ガアル割合ニナリマス、然力致シマシテ世界ノ複雜ヲ加ヘマスニ從ヒ、此精神病者ノ増加スル傾向ニナリマスコトハ疑ヲ容レナイ次第デアリマス、爰ヲ以テ漸次歐米諸國ニ於キマシテハ、其保護ニ關スルコト、取締ニ關スル施設ノ上

ニハ全力ヲ盡シマシテ、英吉利、佛蘭西、敵ナガラモ獨逸諸國ニ於キマシテハ、精神病者ノ三分ノ一ハ官公立精神病院ニ收容イタシテ居ルノミナラズ、北米各國ニ於キマシテハ精神病者ヲ悉ク精神病院ニ收容スル狀況デゴザイマス、ノミナラズ其病院ノ設備内容モ亦頗ル見ルベキモノガアリマスニモ拘ラズ、我國ニ於キマシテハ國家モ公共團體モ共ニ此保護、收容ニ關シテ何等ノ設備ガ無イト云フ實況デアリマス、是ハ誠ニ我ガ同胞ノ中此憫レムベキ精神病者ニ對スル施設ヲ缺ク次第デアリマス、遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス、デ精神病者ニ關シマスル唯一ノ現行法ナル精神病監護法ハ單ニ公安上ヨリ致シテ監置患者ノ取締ト云フコトヲ主ト致シマシテ、不法監置ト云フコトヲ排除スル爲ニ監護義務者及市區町村長ニ對シマシテ精神病者ヲ監置スル權能ヲ與ヘデアリマスガ、一番大切ナ監護法ニ拘ラズ之ヲ監護スル設備等ニ付キマシテハ、何等ノ規定ヲモ致シテ居リマセヌ、從ヒマシテ今ヤ此現行精神病者監護法制定以來、二十年ヲ經過セムトスルニ拘ラズ、唯一ツ東京府立ノ東京巢鴨病院ガアルデケデ、多クハ私立病院ニ收容シテ居リマス、デ六萬有餘ノ精神病者中、精神病院其他ノ所ニ收容セララル患者ノ數ハ僅々四千五百名バカリノ少數ニ過ギマセヌ、殊ニ此約四千五百名ト云フモノハ最も不完全ナル私宅監置ニ附セラレテ居テ、多ハ中産階級ニ屬シテ居リマス、段々衛生ノ局ニ當テ居ル我々同僚ノ中カラ公務ノ出張ノ際、地方ニ於ケル私宅監置ノ狀況ヲ見、又見セシメマシタ報告ニ依レバ、殆ド大キナ聲デハ申上デラヌヤウナ次第デ、殆ド家畜ヨリ憫レナル所ノ狀況ニアル次第デアリマス、何トカ之ニ對シマシテ國家若クハ公共團體兩々之ニ對シテ何等カノ設備ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、深ク申上デルマデモナイヤウナ實況デゴザイマス、又監置ヲ要セザルト云フ患者ニ付キマシテモ、其多クハ適當ナ治療ヲ受ケルコトガ出來マセヌカラ、遂ニ恐ルベキ犯罪ヲ犯シマシテ、是ハ不論罪デハアリマスガ、其數ガ年々百五十名グラキ、或ハ殺人或ハ放火ト云フ危險ナ者ガゴザイマス、是等ハ皆刑法ニ於テハ申上デルマデモナク、不論罪デ處罰セラレヌカラシテ、危險ナル斯ウ云フ患者ガ謂ハユル公安ヲ脅シテ居ルト云フ次第デアリマス、斯ノ如ク精神病者ノ保護治療ハ勿論公安上ノ不備モ少クアリマセヌカラシテ、何トカ收容ノ場所ヲ私人ガ經營シテ居レナイ現狀カラ脱シテ國家ト地方ト相協力シテヤル

コトノ必要ト云フコトハ、最早多言ヲ俟タヌ次第デアリマス、因テ保護治療ノ上カラ療養ノ途ガ無イ精神病者其他監護上必要ナル精神病者ヲ收容セシムル爲メ道府縣ニ對シテ精神病院設置ノ義務ヲ此法ヲ以テ致シマス、國家ハ之ニ對シテ一定ノ補助ヲ與ヘテ其地方ノ負擔ヲ輕カラシムル爲メ、一面ニハ最も危險ノ激シイ犯罪精神病者其他監護ニ最も困難ナル精神病者ヲ保護治療スル爲メ國公立精神病院ヲ設置シテ、是ガ監護ノ徹底ヲ期スル必要ガアル、併ナガラ國家及地方ノ財政ニ關シテ俄ニ國立精神病院ヲ設置シ、又畫一ニ府縣立ノ精神病院ノ設置ヲ期スルコトガ出來マセヌ事情ガアル爲メ、或ハ二若クハ三ノ道府縣ヲ指定シテ造ラシメ、又負擔ハ府縣ノ實況ニ鑑ミテ二府縣以上ノ聯合ヲ以テ設置セシムル趣旨ヲ規定シデアリマス、大體右様ナ精神ニ依リマシテ、此精神病院ノ設置、是ガ維持、是ガ管理等ニ對シマシテ諸般ノ關係ヲ統一シマシテ、立法ノ必要ヲ認メマシテ、茲ニ此法案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、尙ホ不備ナ點ハ御質問ニ依リマシテ、ソレ一御答ヘ申上デヤウト考ヘマス

○北里柴三郎君 ちヨリト當局者ニ御伺ヒ致シマスガ、先刻御説明ノ中ニ、國立精神病院ノコトニ付テ御説ガアリマシタガ、能ク解リマセヌガ、ソレハドウ云フ風ニナルデアリマスカ、今日マデマダ無イノデスカ

○政府委員(杉山四郎君) 北里君ノ御質問ニ御答イタシマスガ、御問ヒノ通り今日ニ於キマシテハ、國立精神病院ハ固ヨリゴザイマセヌ、公立精神病院ガ東京ノ巢鴨病院ガタタ一ツアリマシタデアリマス、ソレデ國立病院ニ於キマシテハ、第六條ノ先程一通リ説明ヲ申シマス通り、危險性ノ甚ダシイ犯罪性精神病者、ソレカラ道府縣立精神病院ニ於キマシテハ監護ガ困難デアルト云フヤウナ精神病者ヲ容レマス爲メ、國立精神病院ヲ造ッサウ云フ者ヲ收容セシメタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、豫算ノ關係ヲ申シマスト、來年度ニハ之ヲ造ル譯ニハナッテ居リマセヌ

○永田秀次郎君 精神病院法ノ制定ハ洵ニ結構コトト存ジテ居リマスガ、是マデ此衛生ニ關スル施設ニ付テハ、往々其必要ノ程度ヲ超エテ計畫サレタリ、或ハ必要ニ應ズルコトガ出來ナカッタリシテ、其宜シキヲ制スルト云フコトガ何時モ不十分デアッタヤウニ考ヘラレマスノデアリマスガ、今度設ケラル精神病院ト云フモノハ、各府縣ニ於テ如何ナル程度ノ病院ガ出來ルノデアリマスルカ、換言スレバ此療養

養所ノ設置ノ如キ程度ノ精神病院ト申上ゲテ宜イカ、ドウ云フ程度ノ病院ガ出來ルノデアリマセウカ、又各府縣ニ於テドレダケノ人數ヲ收容シテ、如何ナル者ガ院長トナルト云フヤウナ、凡ソノ御見込ガ解テ居ルノデアリマセウカ、是等ニ付テ一應御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(杉山四五郎君) 唯今永田君ヨリ從來ノ衛生施設ハ動モスレバ其必要ノ程度ヲ超エ、又或ル場合ニ於テハ反對ニ徹底シナイト云フヤウナコトモアルヤウダガ、此精神病院ニ付テハドウ云フヤウナリ方ヲ以テスル精リデアナルコト云フコトノ段々ト質問ガ出マシタガ、是ハ洵ニ御尤モナル御質問ト存ジマスノデ、先程私が提案説明ノ際ニ外國ナドノ例ヲ引イテ申上ゲマシタガ、外國ノ方ハ殆ド國立ニシマシテモ、公立ノ病院ニシマシテモ、精神病院ハ殆ト一ツノ裝飾物ノヤウナ心得デヤデ居ルト云フコトニ、専門家邊リノ話ヲ聞イテ居リマスガ、日本ニ於テハ是ハ決シテ外國ノヤウナ考ヲ以テスベキ必要ハナイ、即チ永田君ノ仰シヤル通りニ必要ノ程度ヲ超エルヤウナコトガアツテハナラヌ、又一面ニ於キマシテハナカ、地方ノ財政モ逼迫シテ居ル折柄デアリマスシ、國費多端ノ折柄デアリマスカラ、今度設立シマス精神病院モ全ク實際ニ嵌マルト云フコトト、サウシテ此憐レムベキ同病者ヲ收容スルニ足ルト、斯ウ云フコトノ限度ト致シテ居リマスノデ、概要計畫ヲ申上ゲマシレバ、甲乙丙ト云フヤウニ三段ニ分チタイト考ヘテ居リマス、甲ハ二百五十人ヲ收容スル病院ヲ造リタイト思フデ居リマス、此種ニ屬シマスルモノハ先ヅ四府縣アル積リデアリマス、乙種ハ百五十人以上ノ精神病者ヲ收容シマス腹案ヲ持テ居リマス、是ニ屬シマスル者ハ十二縣、ソレカラ第三ノ丙種、是ハ五十人未滿ノ收容ヲ致シマス精神病院、是ニ屬シマスモノガ三十一縣ゴザイマス、デ甲カラ申上ゲマシルト云フト此甲ニ屬シマス四縣ノ收容總人員ガ千七十人、此甲種ノ病院ノ方ハ敷地一人當リ三十坪ニ見込ミマシテ、サウシマス、其總坪數ガ三万五千七百坪、土地ノ買收費一坪七圓ト致シマシテ二十四万五千七百圓、建坪一人當リ五坪ニ致シマス、其總坪數五千八百五十圓、建築費一坪當リ木造ニ致シマシテ二百二十圓、此建築費總計七十万二千圓、設備費一人當リ百圓ト見積リマシテ十一万七千圓、總經費ガ甲種ニ屬シマスモノガ百六万四千七百圓、ソレカラ乙種ニ屬シマス十二縣ノ收容人員ガ二千四百四十人、敷地六万四千二百坪、土地買收費四十四万九千四百圓、建坪一万七千坪、建築費十二万八千四百圓、設備二十一萬四千圓、此總額ガ百九十四万七千四百圓、丙種ニ屬シマス三十一縣ノ收容シマス人員ガ二千九百八十六人、敷地八万九千五百八十坪、買收費六十二万七千六十圓、建

坪一万四千九百三十坪、建築費百七十九万七千六百圓、設備費二十九万八千六百圓、此總額ガ二百七十一万七千二百六十圓トナリマス、甲乙丙、即チ道府縣ヲ通ジマス收容人員ノ總額ガ六千二百九十六人、總經費ガ五百七十二万九千三百六十圓、此半分ヲ國ガ補助スル關係ニナリマスノデ、地方費ノ負擔ニ屬シマスモノハ約二百八十六万四千八百六十圓ノ總額ヲ矢張り國ガ負擔スル譯ニナリマス、詰リ現在此監護法ニ依リマシテ市町村ノ監置シテ居リマスル者ト、ソレカラ公私立病院以外ノ場所ニ於テ監置シテ居ルモノト斯ウ云フ者ヲ皆府縣立病院ニ入レマシタナラバ、所謂市區町村長ノ監置シテ居ル者ニ隨分ヒドイ情態ノ者ガアル、公私立精神病院以外ノ私宅監置ナルモノニ最モ悲惨ナルモノガアルカラ、六千餘名ヲ收容イタルマシマスレバ現在ノ所デ憐レムベキ情態ノ者ヲ大概收容シ得ル考デアリマス、ソレカラ其リ方ハ唯今委員長ノ御話モアリマシタガ、専門家、所謂精神病學ニ通ジ方ノ専門學ヲ修メラレタル人ヲソレ、院長ニ致シ、其下ニ一名若クハ二名位ノ醫員ヲ置キタイト云フ考ヲ有テ居リマス、尙ホ監護人ト云フモノヲ固ヨリ置キマスル考デアリマス、ソレニ矢張り憐レムベキ精神病者ノ慰安ト云フコトガ大事ナ要件デアリマス、サウ云フ側ニ心ヲ用ヒルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、是マデ精神病者ハ癡ラヌヤウニ我々素人ハ考ヘテ居リマス、段々専門家ノ話ヲ聽キマス、必シモ癡ラヌモノデナイドコロデアリマス、此我々ノ憐レムベキ猫同様ニシテヤッテハイカヌデアリマス、此我々ノ憐レムベキ同胞トシテソレ、場處ヲ設備シ、又之ニ對スル治療ノ方法宜シキヲ得タナラバ癡ラヌモノデハナイト云フコトヲ聞キマシタ上ニハ、是非トモサウ云フヤウナ工合ニ適當スルヤウニ仕向ケタイト云フ考ヲ有テ居リマス、デ癡癡養所ハ永田君ノ御了承アラセラル、通デアリマス、アレモ癡癡養所長ガ其人ヲ見マスルト云フト殆ド一家ノ家族ニ對スル父ノ如ク其癡癡養上母ノ如ク勸テ居リマス、青森ナド洵ニサウ云フ風ニ參ッテ居ル、今度ノ精神病院ヲ作ラシメル場合ニハ唯設備ダデハ到底イカヌ、先ヅ院長ニハ永田君ノ御質問ノ如ク専門學ヲ修メタト云フバカリデナク、人格ニ就テモ我々實行スル際ニ意ヲ用ヒテヤリタイト思ウテ居リマス、概要右御了承...

○永田秀次郎君 大要了承イタシマシタガ、唯今承リマシタヤウナ設備ヲ致シマスルト凡ソ現在ヤッテ居ル精神病院ノドウ云フ程度ノモノニ匹敵スルヤウナモノニ出來ルノデアリマセウカ、例ヘバ巢鴨病院ニ類似ノヤウナモノデアリマス、或ハ京都ノ岩倉病院其他ノ私立病院ノヤウナ程度ノモノニナルノデアリマセウカ、ソレデ凡ソドレ程ノ體裁ヲ備ヘタ...

○政府委員(杉山四五郎君) 先程ノ私ノ説明ガ少シ不徹底デアリマシタカラ、イロ、御疑ヲ起シマシタガ、實ハ北里君ノ御意見ト全ク同感ナシマス、立前ガ一方ニ國家ガ國

内容ヲ備ヘタモノガ出來ルカ、チヨット想像イタシ兼ネマスルガ、現在ノモノニ就イテ申シマスルトド、位ノ程度マデノ設備ガ出來テ居レバ當局ニ於テ満足セラレルト云フノデアリマセウカ、早分リガスルヤウニ一應例ニ就イテ御示シガ願ヘレバ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 丁度唯今永田君ノ御問ヒ下サイマシタ目下巢鴨病院グラ井ノ程度ト考ヘテ居ル、國立精神病院ノ方ハ先程申シマシタヤウナ危險性ノ犯罪性精神病者、即チ道府縣立精神病院ニ於キマシテハ監護困難ナル者ヲ入レシメテアリマス、勢ヒイロ、施設ノ上ニ於テ是レ以上ノモノヲ含シテ居リマスガ、御問ノ如ク道府縣立精神病院、巢鴨病院ノ程度ト云フト同様ノモノト御了承ヲ願ヒタイ

○北里柴三郎君 先刻ノ私ノ問ヲモウ少シ御聽キシタイノデアリマシテ、國立精神病院ト云フモノヲ爰ニ御書入レニナダノデスガ實際ニナイノデセウ

○政府委員(杉山四五郎君) 丁度感化院法ニ規定シテアリマスルヤウニ、書方ハ國立感化院ニ入院セシムルコトヲ得ルト云フヤウナ書方ニナッテ居リマス、丁度其筆法ニ倣ヒマシタノデ、國立精神病院ヲ作ルノデアリマス、サウスレバ危險性ノ犯罪精神病者ニ付テ道府縣立精神病院ニ於キマシテ監護困難ナル者ヲ入レル意味ニ於テ國立精神病院ヲ作ルト云フノガ國家ノ意思デアルト云フコトヲ此六條ニ示シタノデアリマス、財政ノ都合ヲ計リマシテ之ヲ作リタイト云フ考ヲ有テ居ル

○北里柴三郎君 唯今御説明ノアリマシタ國立精神病院ト云フモノハ實ハ公衆衛生上、即チ國民ヲ保護スル爲メ一般ノ人ニ危險ヲ與ヘルヤウナ精神病患者ヲ重モニ入レルト云フ御話デシタネ、ソレガ精神病者デモ一番病院ニ入レル必要ノ患者ト思ヒマスガ、其患者ヲ追ッテ國ガ若シ財政ノ都合ニ依ッタナラ國立精神病院ヲ作ッテ入レル、斯ウ云フコトハ此精神病院ヲ御作リナサル精神ト矛盾シハシナイデセウカ、本員等ノ考デア第一ニ國ガ一ツ斯ウ云フモノヲ拵ヘル、國立精神病院ト云フモノヲ拵ヘテ、殊ニ危險性ヲ有テ居ル精神病患者ヲ、此外ノ箇所ニアル患者ヲ入レテ、然ル後ニ道府縣立精神病院ニ患者ヲ入レサセルト云フノガ此國ガ國民ニ對スル義務デハナイカト思ヒマス、ソレヲ後ニシテ此方ヲ先ニスルト云フノハ是ハ唯、經費ガ許サスト云フ御趣意デアリマセウカ、又ハ他ニ何カ御趣意ガゴザイマセウカ

○政府委員(杉山四五郎君) 先程ノ私ノ説明ガ少シ不徹底デアリマシタカラ、イロ、御疑ヲ起シマシタガ、實ハ北里君ノ御意見ト全ク同感ナシマス、立前ガ一方ニ國家ガ國

立精神病院ヲ作シテ、先程モ申シマシタヤウナ者ヲ收容スルノハ國家當然ノコトデアル、而シテ先キニ公眾團體ニ精神病院ヲ作ラセテソレニ國ガ補助スル、斯ウニ云フコトガ此法ノ立テ前ニナデ居リマス、私ノ申上デマシタノハ所謂後段ノ御問ノ次第ノ國費ガ計シマセヌノデスカラ實ハ來年度ノ豫算ニ僅ニ三萬圓、此法ノ所謂第八條ニゴザイマス公私立精神病院ノ中ニ代用ヲ認メテ居ル、此代用病院ニ補助ヲシマスル金額三萬圓タケガ大正八年度ノ豫算ニ計上サレテ居リマス、從ヒマシテ道府縣立精神病院ト云フモノヲ即チ國家ガ指定シテ二ツ、三ツ、若クハ四ツト云フモノヲ指定スルト云フコトハ來年ノ豫算實行上出來マセヌデアリマスカラ、九年度カラ一面政府當局トシマシテハ勢ヒ是非トモ國立精神病院ヲ設置スル、サウ云フ膽立ヲ以テ豫算又計上シ、又他面ハ道府縣精神病院ノ中ニ若クハ四ノ精神病院ヲ指定シテ、サウシテ國ガ補助スル斯ウ云フヤウナ段取ニ進メタイト考ヘマス

○永田秀次郎君 此精神病院ヲ造ルノニ付テハドウ云フ順序デ御造リニナルコトヲ希望シテ居ラル、ノデアリマス、例ヘバ癩療養所ハ全國ヲ何區カニ分テ其區ノ間ニ於ケル府縣ノ聯合デ立テルコトヲ命ジテ現ニ設立サレテ居ルノデアリマス、又肺結核療養所ノ如キモ府縣ヲ指定シテ既ニ造ラレテ居ル所モアリヤウデアリマスガ、サウ云フ具合ニ此精神病院モ主務大臣ニ於テ指定シテ或ル年度ニ造ラヌト云フコトヲ御考ニナデ居ルノデアリマス、若シ既ニサウ云フ御腹案ガアルノデアリナラバ順序デ、ドウ云フ地方ヲ先ニシテ御造リニナルト云フ御考デアリカ承リタイ

○政府委員(杉山四五郎君) 御答ヘ申上デマス、誠ニ御尤モナ質問デアリマス、政府當局トシマシテノ考ハ矢張り其地方ニ於テモ希望シ、又實際ノ必要上立テタイト云フ御希望ノアル所ヲ矢張り先キニシタイト云フ考ヲ有テ居リマス、例ヘバ福岡ノ如キハ其一例デアリマス、大阪ノ如キモ亦其一例デアリマス、最モ急ニ迫テ居ルノハ東京デアリマス、是ハ現在巢鴨病院ガアリマス、御案内ノ通りドウ云フ關係デアリマス、詰リ巢鴨病院ガ一ツアルト云フ關係デアリマス、兎角全國ノ精神病患者ガ東京ニ集マル、東京ニ集マルト云フノデアリ、詰リ東京ニ來テ偶、精神病患者ガ發見セラレマス、云フト、發見地ニ於テ始末シマスル所ノ現行ノ制度ニ於テハ勢ヒ巢鴨病院ニ入レル、サウ云フ譯デドウモ此東京ガ必要ナルコトハ申上デルマデモゴザイマセヌ、ソレカラ成ルベクハ當局トシマシテハ組合セデナシニ出來マズ、ナラバ一府縣ニ一ツ一ツト云フヤウニシタイト云フ積リデアリマスガ、万已ムヲ得マセヌ場合ハ此聯合組合セデナルレデ結核ノ御話モゴザイマシタガ、仰セノ如ク肺結核療養

所ハ今三十万以上ノ六大都市ニ設置ヲ命ジマシテ、或ルモノハ既ニ出來、他ノモノモ方ニ出來ムシテ居リマス、精神病院ノ方ハ實ハ永田君ハ餘リ能ク御了承デ居ラシヤイマス、カラ詳シク申上デマセヌガ、聯合ノ組合デアルト、癩病養所ノ今ヤテテ居リマス、コトハドウモ困ル事情ガアリマス、其養所ハ弊ニ鑑ミマシテ、已ムヲ得ザル場合ニ限テ組合セテヤラセル斯ウ云フコトニシタイト思テ居リマス

○永田秀次郎君 此精神病院ノ經費ニ對シテ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助スルト云フノハ是ハ府縣ニ依テ補助ノ率カ違フト云フノデアリマス、或ハ建築費ニ對シテハ幾ラ補助スルトカ、經常費ニ對シテハ幾ラヲ補助スルト云フ風ニ使フノデアリマス、何レサウ云フヤウナ事柄ニ付テハ御內定ニナデ居ルコトガアリマス、レバ大要承リタイと思ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 府縣ニ依テハ補助ノ歩合ヲ異ニスルト云フノ主義ヲ採リマセヌデ、後段ノ御問ヒノ通り精神病院創立費、擴張費及之ニ付初度調辨費、是ハ二分ノ一補助ノ積リデアリマス、ソレカラ經常費六分ノ一補助、是ハ一畫ニ道府縣ヲ通ジマシテ其歩合ヲ以テ補助スルノ考ヲ有テ居リマス

○永田秀次郎君 各府縣聯合シテ設立スルト云フコトハ種々ノ不便モアリマセウガ、經費ノ關係等已ムヲ得ナイ場合モ生ズルコト存ジマス、斯ノ如キ場合ニ關係地方長官ニ於テ評議ニ依テ分擔ヲスルト云フノデアリマス、是ハ主務省ニ於テ大體ノ標準ガアルノデアリマス、人口ノ比例ニ依ルカ、或ハ租稅ノ歩合ニ依ルトカ云フヤウナ風ニ、分擔ノ方法ニ依テ一應內定ナサレヤウナコトガアルノデゴザイマセウカ

○政府委員(杉山四五郎君) 癩療養所ノ際ニ今御問ヒノ如キ大體標準ヲ立テマシテ居リマス、矢張り其邊ノ先例ヲ參酌シタイト云フ考デアリマス

○永田秀次郎君 第四條ニ精神病院長ハ監護上必要ナル處置ヲ行フト云フコトヲ規定サレテ居リマス、是マデ此精神病院長ト云フノハ事務ヲ主トスル人ガアルノデアリマス、或ハ醫者ガ其病院長ニナルノデアリマス、假ニ醫者ガ病院長ニナル場合ヲ豫想シテ見マス、往々患者ノ監護上ニ付テ警察ノ方面カラ見テ遺憾ニ感スルヤウナコトガ間、生ズルヤウニ考ヘルノデアリマス、又一面事務ノミヲ主トスル院長デアリマス、或ハ療養所ニ遺憾ナ點モアルカモ知レナイト考ヘマス、院長ハ醫者ヲ主トサル、コト、シマス、レバソレ等ニ對シテノ御懸念ハナイ御考デアリマス、一應承リタイ

○政府委員(杉山四五郎君) 御問ヒノ御趣旨ノ如ク此本條ハ謂ハユル人權ニ關係ノアル規定デゴザイマシテ、入院者ニ對シ監護上必要ナル處置、即チ精神病院內ノ監置室ニ監置ヲスルト云フコトハ誠ハ人權ニ關係ガアリマス、故ニ是ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ルト云フコトガゴザイマス、是ハ地方長官ノ許可ヲ受クベシト云フコトニ施行命令ヲ致シタイト云フ考ヲ有テ居リマス、ソレデ精神病院長ハ當局トシマシテハ矢張り醫者ニヤラセル積リデアリマス、醫師ハ自己ノ認ムル所ニ依テ是ハドウシテモ監置スルコトガ必要デアル、云フ場合ニ地方長官ノ許可ヲ得テヤラセル、尤モ特別ナル緊急ノ場合ニ於テハ、事後ニ於テ許可ヲ得ルコトヲ得ト云フ例外モ規定スル考デアリマス、本則トシテハ地方長官ノ認可ヲ得テ初メテヤラセル、尙ホ此場合附加ヘテ申シマス、仰セノ如ク此醫者ノ方ノ側ノ人ハ實際ニ疎イ場合モアルヤウナコトモゴザイマス、其邊ハ餘程院長ヲ任命スル際ニハ地方長官ニ内訓ナドヲ發シマシテ、其人ノ人格、其人ガ眞實裏心カラ病者ヲ助テ之ヲ救治シテ行クト云フヤウナ人格ノ方ニ於テモ重キヲ置イテ採用シタイト云フ考ヲ有テ居リマス

○永田秀次郎君 此精神病院ニ入院セシムル者ハ如何ナル程度ノ者ヲ入院セシメマス、地方長官ニ於テ之ヲ認ムルコトニナデ居リマス、如何ナル程度ノ者ヲ入院ヲ必要ト認メマス、凡ソノ標準デモ立テ居ルノデアリマス、例ヘバ現在私宅監置シテ居リマス精神病患者ノ狀況ハ、唯今政府委員ヨリ承ハリマシタ、如クニ、事實ニ於テハ非常ニ悲惨ナル狀況ニ往々アル者ガ多イデアリマス、此儘ニ捨置キ難イト云フヤウナ狀況ヲ見ルノデアリマス、是等ノ私宅監置シテ居リマス者ハ、必シモ療養ノ途ノ無イ者デモナイラシイ、其取扱ガ極メテ不親切デアルト云フヤウナ、人道上如何カと思フヤウナ程度ノモノガ多イデアラウト思フノデス、此私宅監置ヲ殆ド總テ止メルヤウナ結果ニナルノデアリマス、ウカドノ程度ノモノヲ入レルカト云フコトニ付テハ御說明ガ困難カモ知レマセヌ、出來得ル限リ其御意ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 是ハ第二條ニ規定シテゴザイマス、通りニ、精神病患者ノ監護法ニ依リマス、云フト、第六條「精神病患者ヲ監置スルノ必要アルモ監置義務者ナキ場合又ハ監置義務者其義務ヲ履行スルコト能ハサル事由アルトキハ精神病患者ノ住所、住所ナキトキ又ハ不明ナルトキハ其所在地市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ監護スヘシ」此精神病患者ノ監護法ノ規定ニ依リマシテ、市町村長ノ監護スベキ者、罪ヲ犯シタル者ニシテ司法官廳特ニ危險ノ虞アリト認ムルモノ、ト云フモノヲ地方長官ガ入レル、ソレカラ療養ノ途ノナイ者、又永田君ノ仰セノ途ハアッテモ地方長官ガ、或ハ監護ガ不當デ入院シテ療養ノ

途ガアツテモ、其監置ノ仕方ガ頗ル不親切デ、監護ガ不適當デ、是ハ精神病者ヲ……憐ムベキ精神病者ヲ救護スベキ所以デナイト云フ時ハ、地方長官ノ認定ヲ得マシテ、假令療養ノ途ガアツテモ入院ヲセシムル、是ハ四ノ「地方長官特ニ入院ヲ必要ト認ムル者」ト云フノ趣意デアリマス、大體之ニ依リマシテ現在其精神病者監護法ニ依テ市區町村長ノ監護シテ居リマスモノガ、二千名以上ニナツテ居リマス……二千八百八十名、ソレカラ私宅監置ニナツテ居リマス者ガ、四千八百八十四名デゴザイマスガ、大體マア先程申シマシタ通り甲乙三種ノ方法デヤリマシタナラバ、目的ヲ達成スルコトガ出来ヤウカト考ヘテ居リマス

○永田秀次郎君 現在市區町村長ニ於テ監護スベキ者ハ……精神病者ハ往々ニシテ、私立ノ精神病院ニ託シテ入院セシメテアルカノヤウニ伺ツテ居リマスガ、是等ハ凡ソドレ程ノ經費ヲ要シテ居ルノデアリマスガ、又今日此精神病院ガ出来マシテ、之ニ入レルト云フコトニナリマスルト云フト、其經費ハ現在ノ私設ノ病院ニ比ベドウ云フヤウナ權衡ニナリマスガ、非常ニ高イモノニナリマスガ、或ハ殆ド似タリ寄ツタリノモノニナリマスガ、其實情ニ付テ御分リニナツテ居レバ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 現在ノ公私ノ施設ニ委託シテ居リマス精神病者ノ監護費ハ約五十錢平均デアリマス、北海道ハ區ニ依ツテ違ツテ居リマス、豫算ハ最高福岡ノ一圓五十錢、東京ハ五十一錢、京都ハ七十錢五厘、決算ガ六十錢五厘、大阪ガ五十錢、神奈川ガ六十錢五厘、決算錢ノ子供ガ三十六錢、兵庫ガ五十錢ト云フヤウニ大概五十錢前後ニナツテ居リマス、將來ハ經常費ノ見積リハ一人當リガ八十五錢、一年三百圓ヲ以テ豫算シタイト考ヘテ居リマス

○永田秀次郎君 一人當リ八十五錢ト申シマス、市區町村長ノ監護スベキモノデアリマシテ、一日八十五錢ダケヲ取立テルト云フ譯ニナリマスガ、詰リ現在五十錢デ済ンデ居ルモノガ精神病院ガ出来タ爲ニ八十五錢掛ルト云フ結果ニナリマスガ

○政府委員(杉山四五郎君) 道府縣立精神病院ニナリマスレバ、詰リ立テ前ガ救養ノ途ガ無イ者ヲ容レマス、ソレカラ精神病者ノ監護法ニ依テヤリマス場合ハ、道府縣ノ負擔デアリマス、取立テルト云フコトハ無イノデアリマス、併シ極ク稀ニ第二條ノ第一項、第四項、特ニ願ハテ入院ヲシマスルトカニ云フ場合ハ、結局御尋ネノヤウナコトガ稀ニ起ラウト思ヒマス

○北里柴三郎君 サウシマスルト、私立病院ニ今日委託シテ入院サセテ居ル者ノ五十何錢ト云フノハ、東京デスカ

○政府委員(杉山四五郎君) 東京ハ五十一錢ニナリマス、尙ホ先キホド永田君ノ御質問ニモ御答ヘ致シタガ、唯今北里君ノ御質問デアリマスガ、是ハ少シ古イ時代デアリマシテ、本年度ノ豫算ニ依レバ、段々物價ノ騰貴ニ依リマシテ、最近ハ七十五錢前後デ往來シテ居リマス、東京初メ地方デモ一人當リガ

○北里柴三郎君 サウスルト、私立病院ニ委託スルノハ私立病院ノ經濟上カラ云ヘバ、義務的ニソレヲ引受ケ致スノデアリマスガ、ソレデ私立病院ノ經濟ガ立チマスガ

○政府委員(杉山四五郎君) 御問ヒガ段々混雜シテ参リマスガ、此法ノ側カラ行キマスレバ(道府縣立精神病院ニ於テ一人當リ日ニ八十五錢ト云フノ經常費ヲ以テ道府縣ノ負擔ヤル、經常費ニ付テハ六分ノ一ノ補助ガアリマス、從ツテ私立病院ノ問題ハ無イノデアリマス、此法デ行キマスレバ……

○北里柴三郎君 ケレドモ、第八條ニハ矢張り私立病院ト云フモノハ認メテ居リマス、此法デモ……

○政府委員(杉山四五郎君) 代用病院ニ致シマス節ハ、御問ヒノヤウナコトガ生ズルノデ、即チソレヲ豫想イタシテ來年度ノ豫算ニ結局三萬圓ト云フ補助ヲ致スノデアリマス

○北里柴三郎君 サウシマス、來年度カラハ今マデハ七十何錢デ済ミヨツタモノガ八十何錢ト云フ餘計ナモノニナリマスガ

○政府委員(杉山四五郎君) ソレハ道府縣ニ負擔セシムル場合ヲ御參考マデニ申シマスガ、來年度ノ豫算ニ國庫ノ豫算ヲ計上シテアルノハ、現在標準ニシテアリマス七十五錢、ソレニ對シテ國庫ノ補助ヲ遣ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○永田秀次郎君 差當リ此公立精神病院ノ委託ヲ得テ代用病院トシテ使用セラル、ト云フ已ムヲ得ヌコトガアラウト存ジマスガ、是等ノ代用病院トシテモ凡ソ差支ナイト云フ病院ガ現在ニ於テドノクラキ存在シテ居ルモノデアリマスガ、極ク大體デ宜シウゴザイマスガ、一應承ツテ見タイ

○政府委員(杉山四五郎君) 全國ニ約十一グラキアル見込デアリマス

〔北里柴三郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○委員長(侯爵花山院親家君) チョット御待チ下サイ、マダ御答ヘガアルヤウデアリマス

用ヲ受ケシムルノデアリマス

○北里柴三郎君 モウ宜シウゴザイマス

○永田秀次郎君 第九條ニ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ執行ニ關シテ行政官廳ノ處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトガ出来ルトアリマスガ、病院長ノ爲シタル處置ニ對シテ不満足ノ點ガアル場合ハ之ニ對シテ訴願ガ出来ルノデアリマスルカ、ドウ云フ御見解ニナツテ居リマスカ承リタウゴザイマス

○政府委員(杉山四五郎君) 御問ノ如キコトハ此法デハ豫想シテ居リマセヌ、矢張り行政官廳ノ處分ト云フコトニ定メテアリマス、適用サレマスノハ地方長官ノ場合ダラウト思ヒマス

○委員長(侯爵花山院親家君) 如何デゴザイマスガ、御缺席ノ方モ多イヤウデゴザイマスルカラ、精神病院法ノ方ハ是デ止メテ置キマシテ、次ノ肺結核豫防法、トラホーム豫防法ニ付テ政府當局ノ御説明ヲ煩ハシタイト存ジマス、御異議ガナケレバサウ云フ風ニ致シマス

〔サウ願ヒマス〕ト述フル者アリ

○委員長(侯爵花山院親家君) ソレデハドウ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(杉山四五郎君) 肺結核豫防法ノ制定ニ關シマシテハ昨日當省大臣ヨリ其趣旨ヲ御話申上ゲマシタノデアリマスガ、聊カ私モソレニ附加ヘテ申上ゲマスコトニ致シマス、此結核、殊ニ肺結核、喉頭結核、是ガ非常ナル勢ヒデ年々我國ニ於キマシテ死亡者ノ數ヲ加ヘテ参リマスコトハ、昨日當省大臣ヨリ申上ゲマシタ通りデゴザイマス、所謂結核ニ起因シタ死亡診斷書ノ例デ之ヲ徵シマスレバ、昨日申上ゲマシタヤウニ八萬有餘ノ死亡者數ヲ見テ居リマスルガ、事實ハ中ミソナ數デハナイト存ジマス、然カ致シマシテ先ヅ最近ニ於テ死亡ニ於テハ調査ヲ土臺ト致シマシテ推算ヲ致シマス、患者數ハ約五十萬人餘リ、事實ハ是レ以上ニアラダラウト云フコトガ申サレルノデアリマス、而モ此數ガ普通ノ法定傳染病デアリマス、一萬人ノ中四人ノ死亡者ノ割合デアリマス、結核ノ方ハ一萬人ノ中十六人弱、先ヅ約四倍死ンデ居リマス、デ法定傳染病ノ方ハ「ベスト」トカ「コレラ」トカ云フト非常ニ怖レマス、方ハ左ホ比較的四倍ノ死亡數ヲ見テ居ルニモ拘ラズ肺ノ方ハ左ホ二人ミガ怖レテナイト云フコトハ寧ロ不思議ノヤウデアリマス、此處ニハ斯道ノ大家デアラル、北里博士ガ御出デアリマスカラ、餘リ申上ゲマスルト御釋迦様ニ御説教ヲ申上ゲル譯ニナリマスカラ、甚ダ恐縮ニ存ジマスカラ深イ事ハ申上ゲナケレバナラヌト云フコトハ、結核病ト云フモノハ壯

年ノ者ヲ襲フト云フコトが實ニ著シイ現象デ、而モソレガ又
實ニ重大ナル我ガ民族衛生ノ上ニ關係有テ居ルト云フ
コトハ斷言シ得ラレヤウト考ヘマス、デ是ハ統計ニ徴シマス
ルト十五歳乃至五十歳ノ者ガ實ニ肺結核死亡者ノ七割
三分ヲ占メテ居リマス、壯年者ガ之ニ侵サレマスレバ其人
ノ死後ニアル者ヲ所謂驅テ無告ノ窮民ヲシムルニ至ラズ
ンバ已マナイト云フ結果ニナルノデアリマス、其結核ノ經過
ハ概シテ慢性デアリマス、短キハ數年、長キハ十數年ニシ
テ遂ニ死ノ轉歸ヲ見ルト云フヤウナ譯デアリマス、テ其壯者
ヲ侵シマスレバ、其壯者ノ勞働ノ慾ト云フモノヲ奪ヒマシテ、
本人ノ身ニ取リマシテハ收入ノ途ガ絶エテ仕舞フ、而シテ
本人ハ療養ノ爲ニ非常ナル經費ヲ要スル、遂ニ本病ニ侵サ
レテ斃ル、ト云フ時分ニハ一家ハ貧困窮迫ニ陥ルト云フヤ
ウナ狀況デアリマス、デ詰リ此問題ハ其點カラ見マスト單リ
衛生ト云フ問題ノ關係ニナリマスノミデナク、社會政策上、
又國家經濟上重大ナル關係ヲ有テ居ラウト考ヘマス、斯
ノ如ク肺結核ハ一方ニ於キマシテ忠良和平ノ一家ヲ驅テ
貧困窮迫ノ域ニ陥ラシムルノ原因ヲナスコトガ稀レデナイト
同時ニ、是ハ貧困者ヲ侵スコトノ多イ傾向ヲ有テ居リマ
ス、何故貧困者ヲ侵スコト云ヒマスレバ、即チ貧困者ノ生活
狀態ガ良好デナイ、又多クハ其住ム所ノ住居、攝リツ、アル
所ノ營養、從事シツ、アル所ノ職業、斯ウ云フモノハ實ニ此
結核傳染ノ徑路ニ密接ノ關係ヲ有テ居ルノデアリマス、而カ
モ此住居、此營養、此職業ト云フコトガ即チ此下流ノ……
下層ノ人ニ於テ此病氣ニ罹ラシムベキ「プロパター」ト
申シマセウカ、即チ其虞ガ其方ニ多イト云フコトハ又特ニ注
目スベキ現象ト考ヘマス、恩賜財團濟生會ニ於ケル東京市
診療成績ニ依リマスト云フト、患者ノ一割ト云フモノハ肺
結核デアリマシテ、是ハ一般ノ病氣ヲ統テ括シテ見マシタ
デアリマスガ、其患者ノ一割ハ肺結核デ、結核死亡シマス
ル者ハ總死亡ノ四割四分ヲ占メテ居ル、實ニ此統計ヲ以テ
考ヘテ見マスト云フト、謂ハユル貧困者ニ此罹ル者ガ多ク、
又死スル者ガ多イト云フコトノ大體ヲ窺ヒ知ルコトガ出來マ
スルデアリマス、殊ニ此點カラ考ヘマシテ社會政策上將タ
人道ニ上ニ於テドウモ看過スルコトガ出來ナイト云フ當面ノ
大事ナ問題ト考ヘテ居リマス、先ホド經濟上ト云フコトヲ
申シマシタガ、結核患者五十萬人ト假ニ致シマシテ、其一
人一日ノ療養費七十錢ヲ要スルモノト致シマスト、一箇
年實ニ一億二千七百五十萬圓ト云フ不生產的ノ消費ヲ
ヤル結果ニナルノデアリマス、他方ニ於キマシテ男女老幼ヲ
通ジテ平均一日三十錢ノ生産力ノアルモノト致シマスレ
バ、結核患者ガ結核ニ罹リ生産的ノ能力ヲ奪ハレルノ結果、
五千四百七十五萬圓ト云フ所ノ損失ガ生ズル譯デアリマ

スルカラ、一面ニ於テ療養費、他面ニ於テハ生産力ヲ失フノ
損害、彼是レ精算イタシマスルト實ニ一年ニ一億八千二百
五十六萬圓ト云フ所ノ驚クベキ國家ガ經濟上ニ於テノ損
害ヲ蒙ッテ居ルノデアリマス、尙ホ單リ社會政策上、人道
經濟上、殊ニ衛生上ノ重大ナル問題デアリマス、ミナ
ズ近ク之ヲ我ガ國防ノ上カラ考ヘテ見マシテモ實ニ重大ナ
ル關係ガアルノデアリマス、我ガ陸海軍ニ於キマシテ患者
ノ發生、死亡、除隊斯ウ云フコトニ依リマスル兵員減耗ノ
中ニ、大正五年ノ調ベニ依リマスルト、陸軍ニ於キマシテハ
肺結核ト胸膜炎ニ因リマスル者ガドウデアアルカト云フト四
割四分、中、胸膜炎ガ二割二分、肺結核ガ二割二分、斯ウ
云フ風ニ四割四分ト云フヤウナ兵員ノ減耗ヲ來シテ居ルノ
デアリマス、海軍ニ於キマシテハ矢張り同年度、大正五年
ニ於キマシテ肺結核ガ三割八分、胸膜炎ガ二割一分、合計
五割九分、實ニ半數以上ト云フヤウナコトニナッテ居リマス、
故ニ肺結核ノ豫防ト云フコトハ之ヲ國防兵備ノ上カラ見
マシテモ、一日モ忽緒ニ附スルコトノ出來ナイ重要ナル所ノ
問題デアリマス、斯ノ如キ重要ナル關係ガアリマスルカラ、歐
米先進ノ國ニ於キマシテハ非常ニ此結核豫防撲滅ニ努
マシテ、最モ全力ヲ集注シテ一番世界中良好ノ成績ヲ示シ
テ居ルモノハ、我ガ同盟國ノ英吉利デアリマス、之ニ亞
ハ佛蘭西、獨逸、ドウ云フヤウナコトヲヤッテ居ルカト申シマ
スレバ、先ヅ豫防法規ノ制定ハ申スモ更デアリマス、或ハ貧
民政策トシテ貧民ノ生活狀態ノ改善デアリマス、斯ウ云フ
根本的ノ社會政策ノコトハ固ヨリ力ヲ用ヒテ居リマスルガ、
英吉利ニ於キマシテハ結核豫防國民協會ナルモノガ活動
シテ居リマス、獨逸デハ獨逸結核豫防中央委員會ト云フモ
ノガ活動シテ居リマス、斯ウ云フ團體ヲ組織イタシマシテ結
核豫防ノ研究ヲシ、又國民ニ對スル指導ヲ致シ、又獎勵ト
云フコトヲヤッテ居リマス、其外肺結核治療デアルトカ、療養
所デアルトカ、森林學校デアリマス、結核外來診療所、
或ハ結核保護教導所デアルトカ、或ハ田舎園、休暇園、回
復患者森林保養所ト云フヤウナ幾多ノ施設ガ續々ト設置
セラレテ居リマス、實ニ完備ヲ極メテ居ルコトハ羨望ニ堪ヘナ
イ次第デアリマス、デ英吉利ニ於キマシテハ四十餘年前マデ
ハ結核ノ死亡者ガ人口万ニ付テ三十八人強デアリマシタ
ガ、今ヤ僅々十人、非常ニ勢デ減ッテ居ル、約四分ノ一ニ減ッ
タト云フヤウナ實況デアリマス、獨逸ニ於キマシテモ千八百
八十六年頃マデハ三十人乃至三十二人ノ數デアッタノガ、
今ハ減ジテ十四人弱ト云フヤウナ成績ヲ示シテ居リマス、
斯ノ如ク先進國ハ銳意此豫防撲滅ニ力ヲ致シテ居リマス
ニモ拘ラズ、翻テ我國ノ實況ハ如何カト願ヒマスレバ、大正
三年ニ法律第十六號ヲ以テ六大都市、人口三十萬以上

ノ市ニ向ッテハ肺結核療養所ノ設置ヲ命ズル規定ガアリマス
カ、何等徹底的ニ之ニ關スル豫防法ヲ法ノ上ニ於テ規定シ
タモノナリ、殊ニ三十萬以上ノ市ニ向ッテ法ガ設置ヲ命ジテ
居リマスルケレドモ、一般的ニ此施設ヲ命ズルノ規定ヲ缺イ
デ居リマス、成ルホド省令ハゴザイマス、内務省令ヲ以テ團
體的ノコトハ規定シテアリマスルケレドモ、是等ハ法ノ根據
ノ無キモノデアリマス、是ガデハ到底徹底的ニ結核豫
防ノ目的ヲ貫徹スルコトハ困難デアリマス、一面ニ於キマシ
テハ結核豫防協會ト云フ私設ノ團體モ出來テ居リマシテ、
是等ガ毎年一回若クハ二回連合總會ヲ開イテ、活動ハシ
ツ、アリマス、而シテ此結核豫防協會ナルモノモ實ハ此法
案ヲ制定シマスルノ最モ力ヲアツコトハ此機會ニ於テ公言イ
タスモノデアリマスガ、他面ニ於キマシテハ色々早期診斷所
ナゾト云フモノモチヨイ、出來掛カテハ居リマスガ、未
ダ洵ニドウモ微々タルモノデアッテ、到底先進國ナドノ比較
ニナルモノデハナイノデアリマス、デ昨年保健衛生調查會ニ
於キマシテハ、此實況ニ鑑ミマシテ、一日モ速ニ先進國トマ
デハ迎ヒ追ハヌマデモ、或ル程度マデ現狀ヲ補フヤウニ法
上ニ於テ熱心ナル希望ガアリマシテ、保健衛生調查會ニ於
キマシテハ其法ノ基礎トナルベキ綱領ヲ規定イタシマシテ、
當局大臣ニ建議セラレマシタ次第デアリマス、依ッテ當局大
臣ハ夙ニ其必要ヲ認メテ居ル次第デアリマスルカラシテ、其
骨子ヲ土臺ト致シマシテ、之ヲ法案ニ編出シマシテ、茲ニ此
提案ヲ見マシテ、今御審議ヲ仰カムトスル次第デアリマス
ルデ此法ノ立前ハ結核ト申シマシテモ、肺結核頭結核、腸
結核其他幾多ノ結核ガアリマスル、ソレデ先ヅ此法ノ中ニ
結核トハ何デアアルカト云フコトヲ規定スルノ必要ヲ認メマシ
タ、第一條ニ於テハ結核ト云フコトノ定義ヲ下シマシタ、ソ
レデ醫師ガ結核患者ヲ診斷シマシタ時ニ於テハ、豫防及消
毒法ヲ指示スルノ義務ヲ附與シマシタ、ソレガ第二條デアリ
マス、患者並ニ家人ニ豫防方法施行ノ義務ヲ規定イタシマ
シタ、第三條ニ持ッテ參リマシテ醫師ノ申告ノ義務ト云フモ
ノヲ法デ強制イタシマシタ、詰リ消毒其他ノ豫防方法ガ十
分デナイト認メマシタ時分ニ申告スルノ規定ヲ設ケマシタ、
尙ホ行政官廳ノ豫防方法ノ執行方……直接施行スルト云
フコトノ法ノ根據ヲ此第四條ニ明定イタシマシタ、ソレカラ
第五條ハ本法中ノ重要ナル事項デアリマスルガ、即チ行
政官廳ノ權限ヲ定メ、及其負擔方ヲ規定シマシタ、尙ホ第
六條ニ參リマシテ衛生上不良ナル所ノ建物ノ使用制限若
クハ使用禁止ノ權能ヲ付與シマシタ、ソレカラ人口五萬以
上ノ市ニ結核療養所ノ設置ヲ命ズルコトノ規定ヲ第七條、
第八條ニ規定イタシマシタ、ソレカラ其經費負擔ノ方法、ソ

レニ對スル補助ノ方法ヲ、九條、十條ニ於テ規定イタシマシ
タ、尙ホ療養所ニ入所ヲ命ゼラレマシタ場合ニ其生活ノ困
難ニ陷ル者ニ向テハ生活費補助ノ方法ヲ規定イタシマシ
タ、是ハ現行法ノ三十万以上ノ市ニ出來マスル所ノ……大
阪市ノ療養所ハ大分這入テ居リマスガ、ドウモ這入ルコト
ヲ兎角厭フ人ガアリマス、ソレハ入レラレマス、家族ガ生活
ニ困ルト云フデアリマス、其出來テ居ル所ノ療養所ニ十
分豫定數ガ這入ラナイト云フコトハ何デアラカト云フト生
活ガ……生活ノ出來ナイト云フコトハ困難ニハ換ヘラレナイ
ラ、兎角這入ラヌト云フ弊ガアリマス、依ッテ其弊ニ鑑ミマ
シテ第十二條ニ生活費ノ補助ノコトヲ規定イタシマシタ、
ソレカラ官廳、學校、病院ト云フヤウナモノニ向テハ、此法
ニ準シテ自ラ相當ノコトヲヤルト云フコトノ規定ヲ第十四
條ニ致シマシタ、ソレカラ醫師ノ義務違反ニ對スル制裁、義
務不履行者ノ處罰、處分命令違反者ノ處罰ノ規定等ハ
第十五條、第十六條、第十七條ニ規定ガアリマス、大體是
ガ本法ノ綱要デアリマスガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ不
十分ナ所ハ補フコトニ致シマス

○男爵岩佐新君 チョット伺ヒマスデスガ、第二條デスガ、
第二條デハ若シ醫師ガ患者ヲ診斷シマシタ場合ニソレヲ申
告シマセストキハ科料ニ處セラル、ト云フノデゴザイマスカ
○政府委員(杉山四五郎君) 御問ヒノ通りデゴザイマス
○男爵岩佐新君 尙ホ伺ヒマスガ、監督ガ随分難シイヤ
ウニ思ヒマスガ、ドウ云フ風ニナリマスカ
○政府委員(杉山四五郎君) 御問ヒノ如クナカ、此條
ノ施行ハ随分困難ナ場合モ起ラウト存ジマスルガ、是ハ命
令ノ定ムル所ニ依ルトアリマスノデ、書面指示ノ積リデゴザ
イマス、口頭デナイ書面デアラセマス、書面ト云フモノガアレ
バ指示シタト云フコトガ分リマス、口頭デアリマスルト、ヤッ
タト申シマシテモ水掛論ニナリマスルカラ、書面指示ノ考
デゴザイマス

○男爵岩佐新君 随分是ガ開業醫ニ取リマシテハ困難ナ
コトデナイカト考ヘマスガ……
○政府委員(杉山四五郎君) 實ハ岩佐男爵ノ仰セノ如
クナカ、困難ダラウト思ヒマスルガ、併シマア醫師會ト云
フモノモ大抵全國ニ普及イタシマシタカラ、醫師會ナドデ或
ル一定ノ刷物デモ持ヘテ、何レ是ハ命令デ消毒及豫防方
法ノ仕方ハ差示ス積リデアリマス、畫一的ニソレヲ醫師會デ
醫師會ノ費用デ印刷シマシテ各自ノ診療所ニ持ッテ行ッテ、
サウシテ結核患者ニ對シタ時分ニソレヲヤルト云フヤウナ風
ニシタラドウカ、ソレハ唯今實ハ私共ガ中央衛生會ニ此案
ヲ前以テ諮詢シタ時分ニサウ云フ御心配ガ起リマシタ、マ
アソソナコトデモシヤウカト云フ中央衛生會諸君ノ間ニ

御話ガゴザイマシタ
○男爵岩佐新君 科料ニ處スルト云フコトニナリマス餘
程是ハ差支ガアルト思ヒマスガ、患者ニモ随分惡イ者ガアリ
マシテ、甲ノ醫者ノ所ヘ行ッテ見テ貰フト醫者ハ直接ニ言ハ
ズニ濟シテ置イタ時分ニ、自分ハ結核デアルコトヲ知ッテ居
ッテ、サウシテ今度乙ノ方ヘ行ッテ見テ貰ウテ、ソレガ愈、結核
ト云フコトナリマス其前ノ醫者ヲ誹謗ノ具ニ供スルコト
ガ中ニハ例ガナイトモ限リマセスト思ヒマス、甲ノ所ニ行ッテ
マア隠蔽デモナイガ、サウ云フコトガナイトハ限ラナイト思ヒ
マス

○政府委員(杉山四五郎君) 實ハ丁度岩佐男爵ノ御懸
念ノ如キコトガ、衆議院ノ委員會ノ時ニモ起リマシタノデ、
別ニドウ云フ場合ニドウト云フコトハゴザイマセヌカッタガ、
原案ノ通過ヲ致シマス際ニ希望ガ出マシタ、ソレハ斯ウ云フ
ヤウナ衛生警察上ノコトヲ執行スル時分ニハ餘程當局官
憲ニ於テ慎重ナル考慮ヲ加ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ガ
出テ居リマス、實ニ御尤モナコト、思ヒマシテ、其邊ノコトハ
十分當局大臣ヨリ地方長官ニ訓令ヲ發シテ之ニ對シテハ
餘リ嚴ニ失シオイヤウニ、寬嚴宜シキニ適スルヤウニシタイ
ト云フコトヲ申シテ置キマシタ、今日丁度岩佐男爵ノ御懸
念ノ所モ此事ト考ヘマスガ、ソレデハ當局大臣ニ於キマシテ
十分ニ慎重ノ考慮ヲ加ヘテ、適當ナル訓令ヲ發シテ置キタ
イト云フ斯ウ云フ考デアリマス、右様御了承ヲ願ヒマス……
此場合「トラホーム」ノコトニ付テ……

○委員長(侯爵花山院親家君) マダ御質問ガアルト存ジ
マスカラ、チョット御待チ下サイ……ソレデハ今日ハ是デ止メ
テ置キマシテ、マダ日ハ決定イタシマセヌガ、モウ一遍開キタ
イト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス
午前十一時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵花山院 親家君
副委員長 北里 柴三郎君
委員

政府委員

子爵堤 雄長君
子爵米倉 昌達君
男爵岩佐 新君
永田 秀次郎君
大森 慶次郎君
内務省衛生局長 杉山 四五郎君